

## 教育シンポジウム：新しい臨地実習～指導者講習会を中心として～

## 臨地実習指導者講習会 グループワーク講習会調整者の経験から

黒田真代\*<sup>§</sup> 大村一之\* 村本良三\* 茅野秀一\*

**要旨** 臨地実習指導者講習会は日本臨床衛生検査技師会（以下、日臨技）と日本臨床検査学教育協議会（以下、日臨教）の共同事業で Web 講義とグループワーク講習で構成される<sup>1)~3)</sup>。運営担当者育成のための中央講習会を経て、2022年2月より日臨技7支部でグループワーク講習が開始した。

著者は2022年8月の第16回の本学会にて2月と5月の関甲信支部の臨地実習指導者講習会グループワーク講習の調整者の経験をもとに報告した。

より良い臨地実習の実現のためには病院側の実習指導者の育成だけでなく、教員が積極的に臨地実習指導者講習会に携わり、養成機関側も臨地実習ガイドライン2021（以下、ガイドライン）<sup>4)</sup>の実施に向けた準備を加速させることが必要である。本稿がこれからグループワーク講習の調整者を務める先生方の不安を解消する一助になれば望外の喜びである。

**キーワード** 臨地実習指導者講習会、グループワーク講習、実習調整者、臨地実習ガイドライン2021

### I. 臨地実習指導者講習会について

受講者は臨地実習施設に所属する経験5年以上の臨床検査技師で現在は1施設1名が日臨技ホームページから申し込みできる<sup>1)~3)</sup>。

Web 講義は表1に示す全12講で、45分程度の講義を聴講後に確認テストがあり、すべてを合格することによってグループワーク講習に登録可能となる<sup>1)2)</sup>。

グループワーク講習はコロナ禍のため zoom を使用したオンライン形式となっており、日曜日の朝9時から夕方6時まで実施される。内容は臨地実習プログラムの立案や実習指導者のあり方などで、講師からグループワーク内容の説明の後、グループに分かれてディスカッションし、その内

容をグループの代表者が全体に発表するワークショップ形式である（表2）。

ガイドラインに則った臨地実習に向けて、当面は全国の1,200施設に実習指導者を配置することを目標とし、2023年初旬までは日臨教によって受講費が助成される<sup>1)</sup>。

### II. グループワーク講習の運営担当者の構成と参加者について

司会進行役の企画責任者は日臨技から1名、講師は日臨教から2名、グループワークのファシリテータを務める世話人は日臨技・日臨教からそれぞれ5名、調整者は日臨教から2名で構成する<sup>5)6)</sup>。この他に中央講習会を経験した各役割のオブザーバーや日臨技事務局などが参加し、運営担当者は

\* 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科 <sup>§</sup> shumasa@saitama-med.ac.jp

表1 臨地実習指導者講習会 Web 講義の内容と時間

項目	内容		時間
導入	第1講	新たな指定規則と指導ガイドラインについて	30分
	第2講	臨床検査技師養成施設における臨地実習の理念と概念	45分
展開1 教育内容	第3講	臨地実習において学生に実施させる行為について	45分
	第4講	医療人に必要なマナーとその指導法について～適切なSNSの使い方など含む	45分
	第5講	臨床検査部門における医療安全の確保について	45分
	第6講	チーム医療における臨床検査技師の役割	45分
展開2 教育対象	第7講	青年期の心理的な特性を踏まえた臨地実習指導について	45分
	第8講	多様な学生の理解とその修学支援～合理的配慮提供～	45分
	第9講	臨地実習評価法～臨地実習前の到達度評価含む～	45分
	第10講	臨地実習の到達目標と修了基準	30分
	第11講	教育指導技法（教育学概論を含む）	45分
まとめ	第12講	臨地実習指導者講習会の経緯と今後の課題について	45分

日本臨床衛生検査技師会ホームページより抜粋一部改変

表2 臨地実習指導者講習会グループワーク講習の内容とグループワーク時間

項目	内容	グループワーク時間
開会	演習講義について進め方を説明	
演習1 180分	臨地実習施設における臨地実習プログラムの立案	
	自己紹介：チームワークの構築・評価分の決定	20分
	プログラム立案の進め方をつかむ	15分
	実習プログラムの立案完成	40分
昼休み		
演習2 90分	臨地実習プログラム立案の評価	
	他のグループの発表を聞きプログラム改善	60分
演習3 90分	臨地実習指導者の在り方(ハラスメントを含む)	
	課題1(合理的配慮願の対応)	15分
	課題2(仮想事例の対応)	25分
演習4 90分	その他臨地実習に必要な事項	
	良い臨地実習について話し合う	25分
	わかちあい(1日の振り返り)	12分
閉校式	今後について	

日本臨床衛生検査技師会ホームページより抜粋一部改変

約 20 名だった。受講者は 60 名で、次回以降の世話人や調整者の日臨教見学者も参加していた。2 月は運営担当者 22 名・見学者 12 名(参加者総数 94 名)、5 月は運営担当者 20 名・見学者は 1 名(参加者総数 81 名)だった。

グループワーク講習は運営担当者の支部ごとに実施されており、現在はオンライン実施のため受講者は全国から参加できる。2 月は関東を中心に 17 都府県からの受講で、5 月は 23 都道府県からの受講で全国に分散していた。

### III. グループワーク講習調整者(オンライン形式)の仕事について

グループワーク講習は日臨技事務局によって設定された zoom の指定アドレスで行われた。参加者が指定アドレスにアクセスすると、待機室に入り、ホストが許可することでメインルームにつながり、他の参加者と顔を合わせることができた。

運営担当者は朝 8 時から 8 時半の間に待機室に入った。日臨技事務局が運営担当者の入室を許可することで出席確認が行われた。調整者の 1 人が入室後に事務局によりメインホストに設定された(以後、メイン調整者とする)。メイン調整者は運営担当者で見学者を共同ホストに設定した。共同ホストは待機室にメッセージを送ったり、自分以外の参加者の名前の変更やグループワーク中にグループを移動することができる。共同ホストになった 2 人目の調整者(以後、サブ調整者とする)は待機室にいる受講者に向けて受講番号を名前に記載するようにメッセージを送った。

運営担当者の出席確認後、企画責任者の指示によりメイン調整者によって待機室の受講者を一斉に入室させた。ここから最初のグループワークが始まる 9 時 20 分までの間にブレイクアウトルーム機能を使ってグループ分け設定をした。グループ分けは受講番号の下一桁の数字に従って 10 班に分け、世話人と見学者は 1 グループ 1 名で配置した。受講番号が記載できていない受講者はサブ調整者が参加者名簿を確認し名前の変更を行った。

メイン調整者は講師からグループワークの開始の合図を受けて、ブレイクアウトルームを開始

した。世話人・受講者・見学者は自動的にブレイクアウトルームに移動しグループワークが可能となった。メインルームには企画運営者や講師、調整者、オブザーバーが残った。講師やオブザーバーは自身で自由に各班のブレイクアウトルームに移動して、グループワークのサポートをした。メイン調整者はグループワーク進行中もメインルームに常駐し、参加者一覧やチャット画面のメッセージなどをチェックし、途中退出してしまった受講者の復帰サポートを行った。また、グループワーク中の受講者からヘルプメッセージを受け取った場合に講師や企画運営者に伝えた。グループワークの残り時間をブロードキャスト機能で各グループに送信した。残り時間の案内等のメッセージはあらかじめワードファイルに作っておき、ペーストして使用した。班分けは最初の設定を最後まで使い、グループワークごとにブレイクアウトルームの時間を毎回設定し、開始と残り時間の案内を繰り返した。

### IV. 運営担当決定から当日までのスケジュール (図 1)

講習会実施 2 ヶ月前に担当することが決まり、1 ヶ月前に運営担当者や講師との顔合わせがあった。その際、世話人と調整者の役割を確認すると共に zoom のブレイクアウトルームの操作を教えて頂いた。実施までの打ち合わせは全て zoom であったため、自施設のインターネット環境の確認や必要な操作を練習できた。現在は日臨教ホームページの会員校専用のページに坂本理事長による日臨教加盟校教員に向けて「世話人役・調整者役説明会(1月18日)」の動画が掲載されており、タイムスケジュールや世話人向けマニュアル、zoom 基本操作等がダウンロードできる<sup>6)</sup>。担当が決まったら、これらのマニュアルを運営担当者との打ち合わせの前に見ておくことと仕事内容が理解でき、打ち合わせがスムーズになると思われる。

5 日前には事務局より参加者名簿と当日の zoom アドレスをメールで受領し、参加者名簿やタイムスケジュールを印刷しておいた。

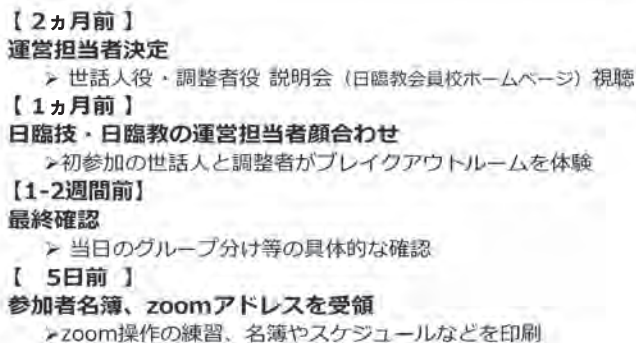


図1 担当決定から講習当日までの準備スケジュール

## V. グループワーク講習会調整者を経験して

準備しておくことは、パソコンのWebカメラとマイクが使用可能であること、インターネット環境があること、zoomのアプリケーションにブレイクアウトルームが表示されているか確認することだった。当初はブレイクアウトルームが表示されていなかったが、アプリケーション上でブレイクアウトルームをONにして表示できた。

講習会当日の作業ではグループ分けを所定時刻までに完了するには受講者の名前に受講番号が明記されていることが重要であった。受講者の中には自身で名前の変更ができない場合があり、サブ調整者がチャットで名前の修正のお願いや変更作業をしたことで、メイン調整者のグループ分け作業が順調にできた。特に朝のグループ分けを行う際にメイン調整者には時間までに設定しなければならぬというプレッシャーがかかる。サブ調整者が受講者の名前の変更をサポートすることで心理的な負担も軽減され、スムーズなグループ分け作業ができた。

また、講習中に何らかの原因で通信障害や途中退出が頻繁に起こる受講者がいた。調整者のひとりにはメインルームに常駐して待機室に再入室した受講者をサポートする必要があった。しかし、グループワークが順調に推移していれば調整者のひとりにはグループワークの見学をする余裕ができた。このように、オンライン形式での講習が継続する場合、調整者はメイン調整者とサブ調整者で

作業分担して準備することを推奨したい。

また、これから調整者になる方でブレイクアウトルームを使用したことがない場合はグループワーク講習の見学や調整者経験者から作業についてレクチャーを受けると良いと思われる。

著者は準備期間中にコロナ感染症の濃厚接触者となり出勤できなくなり、打ち合わせの段階から自宅参加することになった。講習日が迫る中、調整者の責務が果たせるか不安になるばかりでなく、自宅のインターネット環境の確認や、同居家族の協力も必要になった。自宅からの参加が可能であったことで交代要員の手配をせずに済んだが、運営担当者が急に担当できなくなる場合に備えて、交代要員を確保するためにも各支部で運営担当者の経験者を増やしていくことが必要である。

## VI. グループワーク見学で感じたこと

5月の講習会ではサブ調整者として参加し、演習3のグループワークの見学ができた(表2)。合理的配慮を必要とする具体例について提示され、学生の受け入れの際にどのような対応が好ましいかを話し合う内容となっていた。参加者は自施設の実習生の受け入れ状況をふまえて様々な意見を交換していた。一つの事例でも施設により異なる意見や感想を持つことを実感し、実習調整者は状況に応じて施設と密に連絡を取る重要な役割であることを再認識した。また、この講習を受けた受講者が所属する施設においては、支援の必要がある学生の受け入れの際に、今まで以上に相談がより

円滑に進められるのではないかという期待をもった。

## VII. 埼玉医科大学の臨地実習実施状況と ガイドライン対応の臨地実習に向けた課題

### 1. 実習前技能修得到達度評価について

ガイドラインには臨地実習に必要な技能・態度を備えていることの確認及び必要な指導を目的に1単位の授業を実施することが明記されている<sup>4)</sup>。本校では2020年度よりトライアルで実習前技能修得到達度評価を行った。ガイドラインの必ず実施させる行為の中から評価項目を4項目選び実施した。学生への周知遅延や指導不足、評価者やスタッフ不足などのために予定していた試験時間を超過した。

2年目の2021年度は試験項目を同様に4項目選び、1)患者接遇と標準12誘導心電図検査、2)血液塗抹標本作製と鏡検、3)尿定性検査と沈査標本作製、4)血液型検査(筆記)とした。1セクション10分のローテーション形式で行い、卒業生アルバイトによる試験場復帰や受験生の誘導を行ったことで予定時間内に試験を終了できた。

3年目となる今年度は、試験項目の内容の見直しや評価者の増員、評価法の工夫、外部評価者の必要性の検討、評価の学生へのフィードバック法などが検討すべき課題である。

### 2. 実習調整者について

臨地実習施設との調整を行う実習調整者は各校1名以上とされている<sup>4)</sup>。実習調整者は臨床実習中の学生と実習施設の間に入って実習目的が果たせるようにサポートする役割がある。本学は約25施設で臨地実習を行っており、1名の教員が2～3施設の実習調整者となり、複数の学生を担当する。1年生から4年生まで継続して関わっている教員ばかりでなく、学生の健康状態に関する様な個人情報の扱いを教員間でどのように共有すべきかが課題である。また、メンタル面の相談については教員は専門家ではないため、対応に注意が必要である。さらに、学生自身が実習に支障が出るか自己判断が難しく、実習中に問題が明らかとなる場合もある。

実習調整者となる教員も支援が必要な学生や実

習指導者から相談を受けた際の対応について、臨地実習指導者講習会のWeb講義にあるような青年期の学生の特性や発達障害についての知識、合理的配慮についてなどの研修を受けておく必要があると思われる。メンタル面など扱いの難しい学生についてのサポート体制は学生と教員の両者に対する専門的で組織的な対応をできるような仕組みを準備する必要がある。

### 3. 実習施設の確保と部門別実習期間の調整について

コロナ禍になって以来、COVID-19感染症の流行状況により実習中止や短縮、補習への切り替え、実習施設の変更などの対応が生じ、実習施設の実習指導者や学科教員にも平時より多くの負担が増している。コロナ禍では実習施設の確保をいかに進めていくかが課題となっている。さらに、ガイドラインには臨地実習12単位中、生理学的検査は3単位との記載があり、本校での実習期間で換算すると約13日に相当する。そのため、実習構成の再設定や生理検査部門の負担増など受け入れ施設に新たな課題が生じている。また、内視鏡検査も必ず見学すべき項目に追加されたが、実施できる施設が限られており、2022年度の実地実習では20施設中6施設のみ実施となっている。病理部門や細菌部門を外委託している施設もあり、ガイドラインに沿った実習をすべての学生に提供するには多施設型の臨地実習体制を取り入れていく必要があると考えている。

## おわりに

はやければ2年後にガイドラインに則った臨地実習がスタートする。著者のようにオンライン形式の会議に不慣れでもグループワーク講習調整者の担当が可能であった。臨地実習講習会の運営に携わることで、良い臨地実習の実施に向けて実習指導者と教員の連携の重要性にあらためて気がつくことができた。さらに、実習調整者となる養成校側の準備も早急に進めていかなければならないと感じた。

実習調整者は実習指導者と連携をとり臨地実習指導における様々な問題に対応して、円滑に実習

ができるように学生や実習指導者のサポートをする役割がある。学生の臨地実習での経験は進路に直接的に影響する場合も多く、可能な限り公平な臨地実習が受けられる環境を準備する必要がある。

COVID-19 感染症の流行によって実習環境は激変し、現在の学生が受けている実習環境は我々が経験した臨地実習とは異なっている。自身の思い込みを捨てて、実習施設ごとに環境が異なることもよく理解した上で、実習生の学修目的が果たせるように介入することが求められる。

臨地実習講習会の Web 講義は教員にとっても普段の学生指導に役立つものであった。グループワーク講習でも実習指導者の考えを知ることができ、臨地実習講習会へ教員が携わることは実習調整者の研修的役割を果たすと考えられた。臨床検査技師教育に関わる教員や実習指導者が実習指導者講習会のグループワークの様に、これからの臨床検査技師像について議論し、臨床現場と連携した臨地実習に発展させていくことが、より良い臨地実習の実現のために重要である。

臨地実習指導者講習会の継続的な実施には運営担当者のバックアップ体制も必要で、多くの教員が臨地実習指導者講習会に積極的に携わることが望まれる。

## 謝 辞

臨地実習指導者講習会関甲信支部企画運営者の宮原祥子先生、日本臨床衛生検査技師会事務局の児玉真由様をはじめ運営担当者の先生方、調整者オブザーバーとしてご助言いただいた関西医療

大学大瀧博文先生、講習調整者としてご協力いただいた群馬パース大学林由里子先生に心より感謝申し上げます。

## 文 献

- 1) 臨床検査技師の臨地実習指導者講習会の受講について(依頼). 日臨技発第 393 号日臨教発第 R3 0033 号令和 3 年 12 月 13 日, 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会代表理事会長宮島喜文, 一般社団法人日本臨床検査学教育協議会理事長坂本秀生, 2021.  
<https://www.nitirinkyo.jp/cms/wp-content/uploads/2021/12/doc20211213.pdf>
- 2) 臨地実習指導者講習会. 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会ホームページ, 2022.  
<https://www.jamt.or.jp/studysession/onsite/>
- 3) 臨地実習指導者講習会の受講案内. 2021 年 12 月 17 日掲載, 一般社団法人日本臨床検査学教育協議会ホームページ, 2021.  
<https://www.nitirinkyo.jp/news/post1361>
- 4) 臨床検査技師教育 臨地実習ガイドライン 2021. 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会, 一般社団法人日本臨床検査学教育協議会, 2021.  
<https://www.jamt.or.jp/asset/g/Guideline-0806.pdf>
- 5) 臨床検査技師臨地実習指導者講習会の開催指針について(通知). 医政発 0331 第 92 号令和 3 年 3 月 31 日, 厚生労働省医政局長, 2021.  
<https://www.jslm.org/others/news/20210331-3.pdf>
- 6) 臨地実習指導者講習会 世話人役・調整者役 説明会(2022 年 1 月 18 日開催), 2022 年 4 月 1 日掲載, 一般社団法人日本臨床検査学教育協議会ホームページ, 2022.  
[https://www.nitirinkyo.jp/member\\_news/post1399](https://www.nitirinkyo.jp/member_news/post1399)